

# ※取扱時の注意※

## A スタジオ音響機材の電源を入れる場合

①ラック内の一番上にある電源ラックの右端にあるパワーを ON にする。(下記一つのみ)



※この赤いスイッチをオンにすると、ラック内のミキサー・グライコとスピーカーの電源が全て ON になります。

②ミキサーのマスターフェーダー(一番右:黄色)を上げる。

③各チャンネルのフェーダー(白・青等)を上げる。

(上げすぎ注意・0dBが限界です。)

※ラック内にあるイコライザー等のプロセッサのつまみに触れると故障の原因になりますので絶対に触らないで下さい。

## 電源を落とす場合

①最初に上げたミキサー全てのフェーダーを下げる

②ラック内の電源ラックにあるパワーをオフにする。

# ※取扱時の注意※

B スタジオ音響機材の電源を入れる場合



## 電源のオン・オフの順番について

### オンの場合

1. ミキサーの電源をオン
2. ミキサーの各ツマミを少しずつ上げ、音量を調節する。  
(ピーク(赤いランプ)が絶対付かないように! 壊れます!!)  
※MAXで上げてても12時~13時の位置にしてください。  
音量上げすぎ注意!!

### オフの場合

1. ミキサーの各ツマミを全て下げる
2. ミキサーの電源をオフ

※グライコ(縦にある棒状の物)は絶対に触らないで下さい。

# ★CD やメトロノームを流して練習したい方へ★

CD やメトロノームを流したい方は、持込の携帯プレーヤーから直接イヤホンへ音を流すことを前提でお願いします。

必ずヘッドホン・イヤホンやミニミキサーを持参してください。

スタジオミキサーから音を出したい場合、イヤホン延長ケーブルは常設しております。イヤフォンジャックからの変換は持参ください。

常にスピーカーから出す音量は最小限にしてください。

絶対にスピーカーからCD やメトロノームを爆音で流さぬよう、重々機材へのご理解をお願いします。

クリック音などを大音量で流すと、簡単にスピーカーが飛びます。

本来、スピーカーから出てくる音に合わせて演奏するという行為自体が、厳密に言えばタイミングが合いません。

タイムラグの生じた音に合わせるという不思議練習になります。

あくまでもイヤホンやヘッドフォンで聞ける環境を整えて練習に励んで頂けると助かります。

スピーカーの損傷による修理代は相当なものです。

良い音を保ち続けたスタジオにしたいので、どうか皆様のご理解とご協力を宜しくお願いします。



ProfessionalSound  
AllForaPerformer  
SoundReinforcement  
**CIU, INC.**



# ※スタジオ利用時のマナーについて※

ミュージシャンシップを大切に。ルール・マナーを守り、利用して頂く皆様が楽しく練習出来る環境にしましょう。

## ①スタジオ内 飲食・喫煙 厳禁

※もしも機材に飲み物をこぼしてしまったら…機材は簡単に壊れてしまいます。

故意的とみなされる機材の故障は、全額お客様の負担で修理となります。

※喫煙も厳禁です。喫煙は指定された喫煙所をお願いします。

## ②土足厳禁！！

※スタジオ内に土足での入場はご遠慮下さい。ドラマーの方のみ土足での入場は許可しますが、ドラムマットの上でのみ靴を履いて下さい。

## ③時間内に退出する！！

※スタジオを利用される方同士、スムーズに気持ち良く練習が出来るように、予約時間 2-3 分前の店内退出を徹底してください。

10 分前には片付けを開始し、最低でも 2-3 分前に退出しましょう。

続けて次に使用する方が大変助かります。

ドラムセットは元のセットの状態に。アンプ・マイクは元の位置に。

各電源・ミキサー電源・エアコン・部屋の電気は必ず切って退出してください。

## ◆その他注意事項◆

・スタジオ内に常設されてある機材は無料です。

追加機材のある場合のみ、別途レンタル料が発生する場合があります。

・機材の使い方が分からない方は、お気軽にスタッフまでお尋ね下さい。

誤った使い方を続けると、機材破損の原因になります。

# 帰る前に必ず再確認を!!!

次に入る方が気持ちよく利用できるようお願いいたします。

- ※ドラムは2タム1フロアに戻す!  
(タムを元に戻さない方が特に多いです。次の方の為に。)
- ※アンプ・マイクは元の位置に戻す!
- ※ミキサー周りは必ず電源を切る!
- ※エアコンは必ず電源を切る!
- ※室内電灯は必ず切る!
- ※2〜3分前には次の方の為に必ず退出する!
- ※機材が壊れたら(特にジャック類など)すぐ報告する!  
(わざとでない限り、請求など一切しません)

マイクケーブルの巻き方(八の字巻き)  
が分からない方は、無理して巻くと破損の原因  
になりますので巻かずに置いて下さい。  
(めちゃくちゃに巻く方が多いです・・・壊れます。)